

## 主 文

本件各上告を棄却する。

当審における訴訟費用は被告人Aの負担とする。

## 理 由

被告人Bの上告趣意及び被告人Aの弁護人進藤誉造の上告趣意は、何れも刑訴四〇五条の上告理由に当たらない。また記録を調べても同四一一条を適用すべきものとは認められない。（原判決は被告人Aに関して控訴趣意に対する判断を一部遺脱していること所論のとおりであるが、右控訴趣意自体理由がないから刑訴四一一条第一号に当たらない。）

よつて同四一四条、三八六条一項三号、一八一条（被告人Aにつき）により裁判官全員一致の意見で主文のとおり決定する。

昭和二七年一月一六日

最高裁判所第三小法廷

裁判長裁判官	井	上	登
裁判官	島		保
裁判官	河	村	又 介
裁判官	小	林	俊 三
裁判官	本	村	善 太 郎